2017(平成29)年7月2日　第44号

福島教区報

天理教福島教務支庁
〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数　123ヶ所
布教所数　113ヶ所
よふぼく数　3473人
(R179.12月末現在)

修理人先生を迎えて『教区祭』を開催

4月2日、今年より福島教区の修理人となられた本部員・木村成人先生を迎えて、恒例の「教区祭」が教務支庁に於いて開催され、管内教会長を始め、教信者の方々、約180名が参加した。今年は日曜日と重なるということで、各部各会を中心に模擬店も出されるなど、人材育成の場ともなった。

まず、平澤教区長が、思いを込めて力強く祭文を奏上。その後、8交替で十二下りのおつとめが、一人ひとり真実をこめてつとめられた。

その後、木村先生が講話に立たれた。先生はまず、「なぜ天理教を信仰しているのか。」という問いに対して、「過去」「現在」「未来」と三つに分けての答えを提示して、自分自身の信仰を見つめ直すことの大切さを話された。そして、一人ひとりの陽気ぐらしの実践を促された。

御礼の参拝後、教区長よりあいさつがあり、お楽しみ行事の開始となった。殿外では、芋こ汁やフランクフルト、焼き鳥、ポップコーン、綿あめ、デザートなどが用意され、参加者のおなかを満たした。殿内では、まず、舞楽『蘭陵王』が演じられ後、女子青年が中心となって「恋ダンス」を踊った。青年会は「青年会歌」を勇ましく歌い、目黒淳さん（福相分教会）が中南米発祥の楽器「ケーナ」を演奏した。最後は、お楽しみ抽選会となり、色々な景品が次々と参加者の手に渡っていった。

教区祭　お楽しみ行事の様子

全教一斉　ひのきしん

◎福島教区管内ひのきしん参加者内訳◎

福島	特別養護老人ホーム「ファミーユ」	除草、清掃	69名
安達	蛇ノ鼻遊楽園	除草、清掃	49名
郡山	ＪＲ郡山駅前	除草、清掃	38名
田村	三春民俗資料館周辺	除草、清掃	25名
耶麻	川桁・熊野神社	除草、清掃	11名
	喜多方市・桜ヶ丘公園	除草、清掃	25名
	坂下・台ノ宮児童公園	除草、清掃	7名
	猪苗代・亀ヶ城公園	除草、清掃	9名
会津	会津若松市少年の家	除草、清掃	52名
	本郷分教会墓地	除草、清掃	5名
	南会津町・びわのかげ公園	除草、清掃	3名
	会陽分教会周辺（5月5日実施）	除草、清掃	8名
いわき	いわき市こども元気センター	除草、清掃	27名
	松ヶ岡公園	除草、清掃	112名
相双	ＪＲ新地駅	除草、清掃	20名

※教区布教部の集計より

基礎講座

5月14日（日）、福島テルサで、杉澤元和先生（若會分教会長）を講師に、第22回基礎講座・福島会場が開催された。福島教区では、この講座が今年初めての基礎講座でした。

当日は、男子3名、女子2名の会場スタッフという、いつもより少ない人数での開催となり、会場の準備に当たっていましたが、開講時間が近づいてはくるものの、受講者の方は2、3名しかなく、「今日みたいに、少ない時もあるよね。」などと、スタッフ同士で励ましあいながら、業務をつとめていました。すると、開講ギリギリになって10名の方がお見えになり、結果的に16名の方が受講してくださいました。そのうち6名は一般の方で、にをいがけの一手段として活用いただいていることをありがたく思いました。

福島教区として、8年目となるこの基礎講座。他の開催教区からしてみれば、年限は浅く、開催数も少ないですが、どんな中でも、地道にコツコツとつとめさせていただくことが何よりも大切だと、改めて感じさせていただいた講座となりました。

これからも福島教区スタッフ一同、心を合わせ勇んで基礎講座のご用をつとめさせていただきます。

（M・Y）

教区総出ひのきしん

5月19日（金）、教務支庁で恒例の「教区総出ひのきしん」が実施され、49名が参加した。

建物周りの除草と建物内の窓拭きを、それぞれに分かれて行った。

婦人会

福島教区「婦人会総会」開催

福島教区婦人会（平澤栄美主任）では、6月3日、教務支庁で「立教180年度福島教区婦人会総会」を開催。110名の婦人会員が参加した。

第1部では、座りづとめと十二下り総立ちのてをどりをつとめた。

第二部・式典では、会務報告や教区主任あいさつ、教区長の祝辞（二瓶主事代読）などが述べられた。

昼食後は、田浦道則先生（河原田分教会長）を講師に、第三部・記念講演があった。先生は、今の時代は耳で聞くより目で見る方が情報が入りやすいということで、「漢字カード」を使ってお話された。6月3日がお母様の月命日ということで、お母様の身上のことを話され、出直された時が、ご自身の信仰の転機となり、積極的に道を求めようと胸に治まったそうです。また、お父様のご身上の際に、ご自身の長男が産まれ、その名前をつけてもらおうとお願いし、長男誕生のお礼のおつとめの最中、頭に2文字浮かび、それを書き留めて、入院されているお父様（前会長）に見せようと思ったら、その前に「名前が決まったぞ。」と言われ、紙を見せてもらったら、不思議にも前日に頭に浮かんだ2文字だった。それが「勇喜」ということで、それを機に、もう駄目と言われた前会長様が、徐々に回復し、その後9年間、生かしていただいたそうです。

先生は、「日本笑い学会」の会員でもあり、講師もされており、笑いの効用は体に多大な影響を与えるとし、お話の随所に笑いの種を蒔かれ、大いに笑って明るくお通りいただきたいと講演を終えられた。（S・A）

総立ちで手をどりをつとめる。

講師：田浦道則先生

雅楽演奏

5月27日（土）、会津地方の教友を中心に構成される「会津天雅会」（二瓶善一郎代表）が、磐梯町の慧日寺跡で5回目となる「春の雅楽演奏会」を行った。

今年は、約650名の聴衆を前に、管絃『五常楽』『越殿楽』『陪臚』『ふるさと』の4曲を演奏した。

特設の舞台で雅楽を演じる。

郡山支部

「ようぼく成人講座」開催

郡山支部（加藤和宏支部長）では、6月11日行理山分教会を会場に近藤直光先生を講師に迎え「さあ、にをいがけ」をテーマにようぼく成人講座を開催した。講師は自教会につながる人々の「ひのきしん」と「にをいがけ」に参加する人数の差を取り上げ、苦手意識から自らハードルを上げていることを紹介し、講座参加者が持つ「にをいがけ」に対する苦手意識は誰もが感じているものだと述べ参加者の気持ちをほぐした。

次にグループ毎に「におい」に対するねりあいを行い、良いにおい、好きなにおい、そこから想像する心象を話し合い、グループ毎の意見を代表者がのべた。再び講師が、身近に繋がる近所の方々や仕事柄繋がる人と日常会話の中に教会での様子や家族の出来事などを話したことにより、月次祭に昼食の料理を準備してくれたり、心を寄せてくれたことを紹介した。最後に講話を元にグループ毎に振り返りを行い、参加者は非日常のにをいがけではなく、日常生活の延長上に、にをいがけがあることを改めて感じ取っていた。（Y・H）

・・・・・・・・・・・おぢばでの行事・・・・・・・・・・・

少年ひのきしん隊本部練成会

【日時】 7月29日（土）～8月6日（日）
【対象】 わかぎ（中学生）で教区団育成会長が推薦する者。特に教会長子弟の率先参加を望む
【費用】 25,000円（支部助成を含む）

第60回道の教職員 夏の集い

【日時】8月7日（月）～8日（火）
【会場】天理小学校・天理教校学園・他
【内容】特別講演（講師・井筒梅夫本部員）
教育講演（講師・久松真一氏）
分科会、グループトークなど
【参加費】 7,500円（全日程）

・・・・・・・・・・・東北ブロックの行事・・・・・・・・・・・

Work & Talk 2017 in 青森

【日時】 8月29日（火）～8月30日（水）
【対象】 大学生・大学院生
短大生・専門学校生
【会場】 東八甲田家族旅行村（野外）
【費用】 2,000円
【内容】 グループでの話合いや活動

青年会　東北ブロック大会 @ 岩手

【日時】 7月15日（土）～16日（日）
【費用】 男性1,000円、女性　無料
【内容】 お楽しみに！
【宿泊】 岩手教務支庁

・・・・・・・・・・・福島教区内の行事・・・・・・・・・・・

成人塾

【日時】 8月16日（水）～17日（木）
【対象】 小中学生
【会場】 福島教務支庁
【費用】 300円

天理教基礎講座（福島会場）

【日時】 8月19日（土）午後1時30分～
【会場】 ビックパレット福島（郡山市）
【受講御供】 500円

【日時】 12月3日（日）午後1時30分～
【会場】 福島テルサ（福島市）
【受講御供】 500円

ひのきしんスクール

【テーマ】 依存症
【日　時】10月1日（日）
【会　場】 郡山市中央公民館

おやこキャンプ練成会

【日時】 8月19日（土）～20日（日）
【会場】 国立磐梯青少年交流の家
【費用】 500円
【内容】 野外炊飯・魚つかみどり大会など

まなびば

【日時】 8月19日（土）～20日（日）
【対象】 高校生
【会場】 国立磐梯青少年交流の家
【費用】 500円
【内容】 グループワーク、おつとめ練習、等

道の学生ひのきしんDAY

【日　時】 10月1日（日）
【会　場】 福島教務支庁周辺
【テーマ】 広げよう！感謝、喜び、思いやり
【内　容】 ごみ拾い

福島教区ホームページ　「天理教福島教区」で検索！
Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp